

ロシアでの在外公館勤務

26

在ロシア日本国大使館

在ロシア日本国大使館
二等書記官

廣瀬 謙

平成16年入省

PROFILE

Hirose Ken

平成16年10月	総務省採用
	総合通信基盤局国際部国際政策課
平成18年 8月	総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課
平成21年 7月	情報通信国際戦略局国際協力課国際展開支援室
平成22年 4月	情報通信国際戦略局国際協力課国際展開支援室 情報通信支援係長心得
平成23年 7月	総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課 接続制度係長
平成25年 5月	情報流通行政局郵政行政部郵便課国際企画室主査
平成25年 7月	情報流通行政局郵政行政部郵便課国際企画室 国際企画係長
平成27年 6月	現職

とある
一週間

● 月曜日

新聞や通信マスコミ省の報道発表から情報収集。重要な動きがあれば東京に報告します。

● 火曜日

日本企業と打合せ。当地でのビジネスの状況を聞き、大使館支援の方法を考えます。

● 水曜日

大使館ホールで日本企業のセミナーを開催。大使館も共催という形でお手伝い。

● 木曜日

総務省との政策対話に向けて、通信マスコミ省のカウンターパートと打合せ。

● 金曜日

情報通信関係日本企業の駐在員の方々との懇親会に参加。

▶) 日本企業にとって最も敷居の低い大使館を目指して

私は現在外務省に出向し、在ロシア日本大使館で勤務しています。大使館では経済部に所属し、情報通信分野及び医療分野を担当する他、日本企業支援業務を担当しています。特に日本企業の海外展開支援は大使館の重要な業務の一つです。ロシアの間ではエネルギー分野が目目されがちですが、農業、医療、都市環境、インフラについても有望分野として日露協力の具体化が進められており、大使館では各省庁等から出向しているアタッシュェが各分野での経験を活かして業務を行っています。

総務省の関係では、特に郵便分野における日露協力を進めています。日本型郵便のノウハウや日本企業の活動がロシア国民の生活基盤の向上に寄与するものとして期待しています。また、総務省とロシア通信マスコミ省の間では、情報通信分野の政策対話や関係企業も参加する日露ICTフォーラムを開催してきた実績があります。大使館の立場からこういった取組を側面支援しています。

▶) 国内外を問わず様々な経験ができます

行政評価、地方自治、情報通信等と総務省の所管分野は幅広いですが、外国と関係する業務も意外とたくさんあります。これまで私が総務省から出張で訪問した外国は18カ国。特に地上デジタル放送日本方式の展開に向けた調査で訪問した南部アフリカや、郵便分野のマルチの政策対話のために訪問したエクアドルが記憶に残っています。EPA等の通商交渉では各国の利害関係が相対し厳しい交渉が行われますが、こういった交渉に携われたことも貴重な経験です。さらに現在の私のように在外公館で外交官として働く機会もあります。国内外を問わず様々な経験ができることは総務省の魅力の一つだと思います。

私の場合、国際業務の担当と国内規制の担当を交互に経験できたことが非常に良かったと考えています。国内の実情を把握せずに自信を持って外国政府と対話や交渉を行うことはできません。逆に国内施策を担当する際にも自然に諸外国の事例に目を向けるようになりました。



Private Time

学生時代からの趣味は楽器演奏です。ロシアの民族楽器であるバラライカも演奏します。バイオリン、ピアノ、チェロ、コントラバスがあるように、バラライカにもプリマ、アルト、バス、コントラバスがあります。写真は一番大きいコントラバス・バラライカ。皆さんも機会があればロシア民族楽器の演奏を聴いてみて下さい。